

なぜとインフルエンザはどう違う？

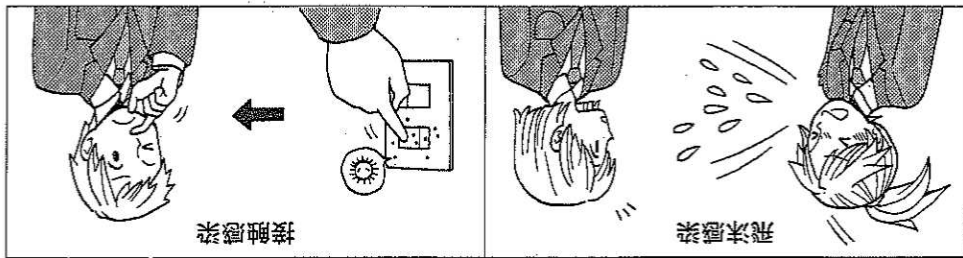
原因	ライノウイルス等 多数	インフルエンザウイルス
症状	鼻水やのどの痛みなど局所症状 熱は38度程度までが多い	急激な高熱(38度以上)。 肺炎、脳炎などの合併症になると重症化する
流行時期	1年を通して	冬に多く、流行のピークは1~2月

* インフルエンザの特徴は、寒気、急激な高熱、関節痛など全身の症状が強くなること！

インフルエンザはどのように広がる？

飛沫感染：感染者の咳やくしゃみをしたときに出る飛沫(口から出る小さな水滴)に含まれるウイルスを吸い込むことによって感染

接触感染：ウイルスがついた手から、目、鼻、口などを通して体内に入って感染



インフルエンザの予防法は？

- ◇手洗いが最も有効 石けんで丁寧に！！
- ◇マスクは感染拡大予防に有効なので、咳症状のある人は、他の人にうつさないために必ずつける。
- ◇規則正しい生活をして、免疫力を高めておく。
- ◇インフルエンザワクチンは、絶対発症しないわけではないが、重症化を予防できる。

インフルエンザにかかったときは？

- ◇水分を充分取り、安静にすることが基本。
- ◇症状が重い、意識状態がおかしいときはすぐに病院を受診。(重症化のサイン)
- ◇発症から48時間以内であれば、抗ウイルス薬が有効。
- ◇「インフルエンザ」は学校伝染病。感染拡大防止のため、出席停止になるので、学校に連絡する。
- ◇病院を受診したら、薬の効能書き、ウイルス検査結果、領収書、薬袋などを保管し、回復後の登校時、担任に提出する。(出席停止処理のため)

出席停止期間は、発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで

但検査による欠席は基本的には公欠ではありません。インフルエンザであれば出席停止になります。